

地域未来創造会議（宇城地域）議事概要

- 1 日時 令和7年3月18日（火） 15:30～17:20
- 2 場所 料亭さかもと屋
- 3 出席者
 - (1) 市町長
元松宇土市長、末松宇城市長、上田美里町長
 - (2) 県議会議員（オブザーバー）
西山議員、吉田議員
 - (3) 県
[本庁]
木村知事、浦田局長、若杉地域振興課長、阿南市町村課長 他
[地域振興局]
中村広域本部長、柴田地域振興局長 他
- 4 議事内容
 - (1) 知事から ～宇城地域の未来への思い～
 - (2) 市町長からコメント
 - (3) 意見交換
- 5 会議資料 別添のとおり

結果概要

会議では、宇城地域の活性化に向けて、企業誘致等の促進に係る土地利用計画の見直しや観光振興、台湾との交流促進などに関することが話し合われた。主な意見は次のとおり。

1 企業誘致等の促進に係る土地利用計画の見直しについて

- ・ 宇城地域は、九州の真ん中に位置し、非常にポテンシャルの高い魅力ある地域。人口減少対策、地域の活性化に向けて、企業誘致の促進や住宅用地の整備に取り組んでいきたい。
- ・ 土地開発に当たって農振除外等の土地利用計画の見直しが必要。県に相談しながら進めており、事務手続きについての助言や土地開発業務に係るノウハウの支援等をお願いする。

2 観光振興について

- ・ 宇城地域の観光資源は、台湾訪問の際にも関心を持って頂いており、魅力的なものが多い。交流人口を増やしていくため、さらなる磨き上げが必要。
- ・ 通過型になっている宇城地域の観光について、滞在時間を延ばすため、体験型の観光に力を入れたい。フルーツをはじめとした豊富な農産物を活かし観光農園を増やしていきたい。3市町連携し、季節を通して紹介できるよう取り組みたい。
- ・ 来年度は、三角西港が世界文化遺産に登録されて10周年。これを契機とした賑わいづくりについて、宇城市と県が協力して進めてほしい。

3 台湾（特に台南市）との交流促進について

- ・ 3市町一体となり台南市と3月に締結した友好交流協定を活かして、観光、経済、文化、教育などの幅広い分野での台南市との交流を進めていきたい。まずは、3市町の子どもたちによる台南市訪問などを検討したい。

その他

- ・ バスなどの公共交通の維持・確保が課題。市町としてはコミュニティバスの見直しやライドシェア導入等を考えていく必要がある。
- ・ 地域の活力維持に当たり県立学校の存在は重要だが、生徒数の減少が懸念される。県には地域の県立学校の魅力向上、生徒確保に向けた取組みを期待する。
- ・ 県には、県北、県南だけでなく、県央地域が埋没しないよう、県央地域の位置付けを明確にし、県央地域の交通政策・土地利用政策等の課題にもしっかりと取り組んでほしい。

今回の会議内容を基に、次の事項について引き続き県と市町で事務的に今後の展開等を検討していくこととなった。

- (1) 土地開発業務に関する職員研修会や県からの助言等による各市町の土地開発の円滑な実現に向けた取組み
- (2) 観光農園等の体験型観光の充実などの観光資源の磨き上げによる観光振興の取組み
- (3) 3市町と台南市との友好交流協定を活かした台湾との交流促進に向けた取組み

(以上)